

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	賑わい創出拠点やまじゅう	所在地	大字須坂197・202－2ほか			
施設分類	産業系施設	所管課	産業政策課			
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	517.45			
居住誘導区域	該当	防災関連施設	非該当			
設置根拠	須坂市賑わい創出拠点やまじゅう条例	設置の目的・経緯	産業の振興、地域の交流と賑わい創出する拠点		交通アクセス	長野電鉄須坂駅から徒歩20分 須坂市民バス 芝宮バス停から徒歩 5分
事業内容	施設利用許可・管理	貸付の有無	有	飲食店スペース・店舗スペース1・交流スペース・屋外オープンスペース		
管理運営の状況	指定管理	委託内容	施設利用許可・維持管理・利用料徴収			
備考（その他特記事項）	須坂市歴史的建造物指定、重伝建エリア内					

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上	2	地下	-	建築面積		延床面積	517.45
構造 (主たる建物)	木造				建築年度 (主たる建物)	1899 (取得 2001、 2021)	築年数 (主たる建物)	125
帳簿原価	56,287,400				耐震化の状況		耐震診断未実施	
減価償却累計額	12,326,551				バリアフリー対応		×	
老朽化率	22.0%				省エネルギーの対応状況		照明器具LED化	
過去10年の改修費用	1,247,400				施設の劣化状況		未改修部分あり	
維持管理・更新投資の 充足度	10.1%							

3 施設コスト

単位（千円）

		2023	2024	2025	3年間の平均値
費用	人件費	0	0	0	0
	委託料	0	0	0	0
	光熱水費	0	0	0	0
	維持補修費	0	199	170	123
	減価償却費	2,364	2,364	2,220	2,316
	指定管理料	8,374	8,108	7,723	8,068
	その他	0	27	0	9
	費用合計	10,738	10,698	10,113	10,516
収入	利用料等収入	0	0	0	0.0
	国庫補助金等収入	0	0	0	0.0
	その他	0	0	0	0.0
収入合計		0	0	0	0.0

収支	-10,738	-10,698	-10,113	-10,516
利用者一人当たりコスト	0.90	1.53	1.18	1.15

修繕履歴	金額	36,000	内容	2021年度 内装・設備等
改修履歴	金額	2087	内容	2022年度壁、屋根一部
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	特定の人（団体）に限定されていない	
開館時間	平日	店舗：午前 9 時～午後11時ほか 店舗以外：午前 9 時～午後10時ほか
	休日	店舗：午前 9 時～午後11時ほか 店舗以外：午前 9 時～午後10時ほか
休館日	なし	
駐車場の有無	有り：契約駐車場	

	2023	2024	2025	3年間の平均値	平均と2025の比較
年間利用者数	11,881	6,976	8,553	9,137	-6%
年間利用可能人数					
利用率					
（参考）年間目標利用人数					
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	賑わい創出拠点やまじゅう
---------	--------------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
合計		0	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館稼働率			
合計		0	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館稼働率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
耐震性能	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
バリアフリー	B	-1	車いすでの移動が困難
合計		-1	

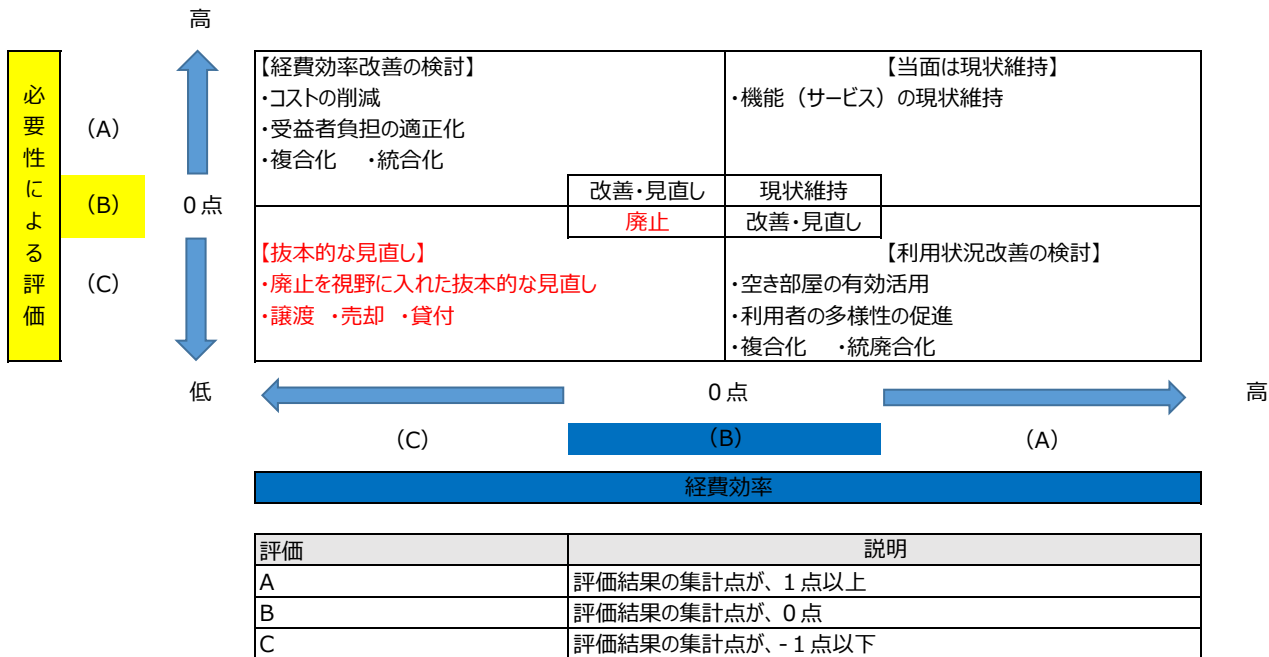
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	車いすでの移動が可能
	B	-1	車いすでの移動が困難

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	0
縦軸	必要性による評価	0
	合計点数	0

【抜本的な見直し】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	-1
縦軸	必要性と経費効率からの評価	0
合計点数		-1

【抜本的な見直し】

